

13. 放射線科臨床研修プログラム

1. 研修の目的

卒後2年目の研修生が、画像診断および放射線治療の基礎を修得することを目的とする。

2. 研修内容

放射線診断学（レントゲン・CT・RI・MRI）、インターベンショナル・ラジオロジー（IVR）、核医学について日常の診療に沿って指導医とともに学ぶ。
特にMRIについては原理から画像診断まで研修する。
勤労者医療に関係する画像診断として、塵肺、肺気腫、婦人科領域での月経困難症などの症例を実例に基づき研修する。

3. 研修医の勤務時間

原則として8:15から17:00であるが、診療内容により遅くなることがある。

4. 週間スケジュール

	午前	午後
月	放射線治療・消化管透視・外来	一般X線診断・CT・MRI
火	血管造影・消化管透視・外来診療	一般X線診断・(放射線治療)・核医学
水	消化管透視・外来診療	一般X線診断・CT・MRI・抄読会
木	消化管透視・外来診療	一般X線診断・(放射線治療)・CT・MRI
金	血管造影・外来診療	一般X線診断・CT・MRI・画像カンファレンス

水曜日の17:30からMRIの基礎および応用の研修を行う。